

荒巻選手が読売ジャイアンツ ドラフト3位指名!!



上武大学 広報

発行

学校法人 学文館
法人本部 企画広報部

上武大学

◇大学本部◇

所在地 〒372-8588
伊勢崎市戸谷塚町634-1
☎0270-32-1010(代)

◇ビジネス情報学部◇
(スポーツ健康マネジメント学科)
☎0270-32-1011(代)

◇大学院経営管理研究科◇

◇ビジネス情報学部◇

(国際ビジネス学科)

◇看護学部◇

所在地 〒370-1393

群馬県高崎市新町270-1

☎0274-42-2828(代)

題字
絵手紙創始者
小池 邦夫

INDEX

- 荒巻選手が読売ジャイアンツドラフト3位指名!!... 1
- 駅伝部 諏訪監督が伊勢崎義塾の1日監督に... 2
- 医学生理学研究所での看護学部生研究再開... 3
- 秋の公開講座(出版記念特別講座)... 4
- 賑わう雑草祭... 4

荒巻 悠 選手 公式戦通算成績

試合数	59
打数	224
打席	163
得点	49
打点	54
安打	53
二塁打	5
三塁打	0
本塁	10
出塁数	109
犠打	1
犠飛	4
四球	40
死球	16
三振	42
打率	0.325
出塁数	0.489
長打率	0.055
OPS	0.544
盗塁企画	8
盗塁成功	7
盗塁成功率	0.875



指名後は、200件以上の祝福メッセージが届いたと嬉しそうに話す荒巻選手。

同日30日、指名元の巨人軍野田雄仁スカウト部長が来校し、取材陣に囲まれる中、荒巻選手への指名あいさつが行われた。ドラフト

荒巻選手は福岡県の祐誠高校出身の内野手で、公式戦10本塁打の記録を持ち「飛ばし屋」とも称される長打力が魅力のスラッガーである。

指名後、記者会見が本学伊勢崎キャンパスにて行われ、練習を終えて駆けつけた荒巻選手は報道陣に対して「ずっとドキドキしていました。指名を受けてほっとしています」と安堵と嬉しさが混

じる表情を見せた。指名を受けた巨人軍に関しては「歴史あるチームでプレイできることはとても嬉しいですね。昔から阿部監督のスイングフォームなどを参考にしていました」と打ち明けた。また今後の目標として「スイングスピードが自身の持ち味なのでさらに伸ばしていきたい。それを活かして打点王、ホームラン王

10月24日、2024年度のプロ野球ドラフト会議が行われ、本学硬式野球部でビジネス情報学部4年生の荒巻悠選手が読売ジャイアンツから3位指名を受けた。

手。「憧れのジャイアンツで四番を任せてもらえるような、球界を代表する打者になりたい」と意気込みを語った。そんな期待の新人に対し水野スカウト部長は「体もしつ



パリ・パラリンピック競泳会場にて
(本人提供)

「大学の競技生活中に東京大会とパリ大会合わせて2度出場するということ貴重な経験をしました。両大会では、積み重ねてきた練習の

「大学の競技生活中に東京大会とパリ大会合わせて2度出場するということ貴重な経験をしました。両大会では、積み重ねてきた練習の

いもあり、決勝に進出し入賞することができました。大学卒業後はさらに高みを目指すため、社会人として新しい環境の中で競技を続け、2028年に開催されるロサンゼルスパラリンピックでメダル獲得を目標に日々努力していく所存です。この4年間応援してくださった大学関係者ならびに後援会の皆様、サポートしてくれた学生の皆様、本当にありがとうございました。在学生の皆様、大学生活は長いようで短いので、存分に楽しみ、実りあるものにしてくだ

水泳部・由井選手 パリ・パラリンピックでの活躍

駅伝部・諏訪監督が 伊勢崎警察署の1日署長に

12月3日、本学駅伝部の諏訪利成監督が冬の県民交通安全運動における1日警察署長に任命され、伊勢崎警察署内で委嘱式が行われた。諏訪監督はアテネ五輪6位入賞経験を持つオリンピックで、東村(現伊勢崎市)の初代名誉村民でもある。

諏訪1日署長は交通安全全宣言を読み上げたあと、駅伝部員や来賓、警

察署員、協会員などの出席者約50名と共に路上で交通安全を呼びかけ、道行くドライバーに飲酒運転撲滅のチラシや反射材などの記念品を贈呈し、安全意識を高める活動を行った。

諏訪監督は「公道で練習する機会は多いので、部員には交通ルールを徹底して守るよう指導している」と交



箱根駅伝予選会で4位入賞したバトリック・カマウ選手も安全を呼びかける

駅伝部諏訪監督

通ルールに関する普段の心がけを取材に訪れた報道陣に語った。活動に参加した駅伝部員の一人は「道路で走る練習をしていると、『頑張っ』と声を掛けてくれる人が多く、こうした交通安全啓発を通して少しでも地元貢献できることは嬉しい」と話した。



サッカーグラウンドの 人工芝張替えと それに伴う安全祈願

本年1月に伊勢崎キャンパスのサッカーグラウンドの人工芝張替え工事が完了した。それに伴い、飯玉神社(伊勢崎市)神主による安全祈願が行われ、本学理事長、学長、サッカー部監督などが参列し、大学内での無事故や運動部を含めた学生の活躍が祝詞にのせて祈禱された。新しく生まれ変わったフィールド上でサッカー部の更なるレベルアップを期待したい。

公務員合格報告会

「2024 公務員合格報告会」のつづきを、語るうか。」が12月10日(火曜日)、伊勢崎キャンパスの大講義室で開催された。市役所、警察、消防から採用内定を獲得した3人の学生が登壇し、来年以降、公務員試験を受験する学生たちに向けて、受験勉強の苦労やモチベーションの高め方、合格に役立つ勉強法などを語った。教室は満席となり、学生たちは合格した先輩の話に真剣に耳を傾けて



登壇した小川さん、志賀さん、池田さん

いた。報告会終了後も先輩たちから直接話を聞くという学生も多い列ができた。長野県須坂市役所に就職予定の池田さんは「大で学んだスポーツや健康の知識を活かし、地域の活性化に貢献する仕事

がしたい」と将来のビジョンを語った。受験勉強については「公務員受験指導の先生が作成した上武オリジナルの問題集や過去問をひたすら解き、本番に臨んだ。面接の練習も丁寧に指導してもらい、それが合格につなが

ったと思う」と話した。本学では、公務員受験に対する手厚いサポートを提供しており、近年では行政や自治体、消防官、警察など幅広い職種で公務員就職者が右肩上がりに増加している。今年度も過去最高の合格者数を記録し、その数は更新を続けている。



んま若者シゴトトーク

11月19日、群馬県と上毛新聞社が主催する「ぐんま若者シゴトトーク」が、本学の高崎キャンパス学生ホールで開催された。このイベントには、県内の優良企業4社がブースを出展し、国際ビジネス学科の学生たちが次々と訪れ、熱心に採用担当者の話に耳を傾けた。学生たちの表情には、将来のキャリアに対する真剣さと期待がにじみ出ており、質問を投げかける場面も多く見られた。

身の仕事のやりがいや業界の現状について語った。さらに、在学時代の思い出や、学生時代に培った経験がどのように現在の仕事に役立っているかといったエピソードも披露され、学生たちは親近感を抱きながら話を聞いていた。このような交流を通じて、参加学生の1人は「将来の自分を見つめるいい機会になった。気軽に参加できるのも良かった」とキャリアイメージを持つと同時に、目標に向けたモチベーションを高めるきっかけを得たようだ。

大学院同窓会が 開かれる【初開催】

11月10日(日)、同窓会の大学院支部設立パーティーがエテルナ高崎で開催された。このパーティーには、修了生や在校生に加え、澁谷学長をはじめとする教職員も出席し、総勢50人近くが集まった。会場では和やかな雰囲気の中で交流が進み、同窓生同士の再会や新たなつながりが生まれる場面が多く見られ、大盛況のうちに幕を閉じた。特に在校生にとって、現役の税理士としては、活躍する修了生から直接話を聞くことができ、貴重な機会となった。参加者の一人である修了生は税理士としての具体的な業務内容や、試験勉強時代の経験、キャリアについて具体的なエピソードを交えながら語り、在校生たちは真剣に耳を傾けていた。また、在校生からの質問も活発に行われ就職活動や資格取得に向けた実践的なアドバイスが飛び交う場面もあった。



集まった大学院関係者ら

医学生理学研究所での看護学部生研究再開

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた医学生理学研究所主催の看護学部生対象の生命科学研究が、今年度の夏季休暇中に再開された。看護学部1年生の武井さんは、「座学だけでなく、実際の実験を通じて知識を深めたい」と参加を決意。9月9日から13日の5日間、RNA抽出やcDNA合成に取り組んだ。HeLa細胞とHEK293細胞を用い、RNAの濃度や性質の違いを発見したことが「特に面白かった」と振り返る。操作手順を自ら行い、これまで写真や言葉でしか知らなかったRNAを実際に観察した経験は貴重だったという。

一方、ピペッティング操作の難しさも感じた。μ単位の液体を扱



遺棄GFPを用いて細胞を蛍光顕微鏡で観察している武井さん

武井さんは、「非日常的な小さな世界に触れ、自分の知識と視野が広がった」と語る。実験で使ったPCR法は、新型コロナウイルス検査で知られる技術だが、その仕組みを初めて理解できたことも収穫だったという。

指導にあたった澁谷学長や笹川主任研究員への感謝の意を表しつつ、武井さんは「今回得た経験を今後の看護学の学びに生かしたい」と意欲を見せた。

硬式野球部によるボランティア活動紹介

本学硬式野球部が12月21日、本市市の「児玉の森こども園」で開催された地域イベント「おしゃべり食堂」に参加。選手たちは野菜の販売やポツプコン、綿あめ作りを担当したほか、子どもたちと食事を共にしながら楽しいひとときを共有した。



野菜販売では、最初は集客に苦労する場面もあったが、選手たちは試行



子どもたちと交流した。選

翌日の12月22日、児童養護施設「雀幸園」にてクリスマスパーティーと交流会を実施し、子どもたちとの触れ合いを楽しんだ。このイベントでは、選手がサンタクロースの衣装を身にまとい、お菓子や文房具をプレゼントした。子どもたちの笑顔があふれる温かなひとときとなった。

パーティー後にはドッジボールや縄跳び、カードゲームなどを通じて子どもたちと交流した。選

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム (リテラシーレベル)」に認定

令和6年8月27日、本学のデータサイエンス教育プログラムの「数理・データサイエンス」が、文部科学省の「数理・データサイエンス」に認定された。

イエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)に認定された。

本学では、今年度から特別クラス「データサイエンスクラス」を設置し、「ビジネスデータ分析」「経営数学」「統計学」といった専門的な科目を学べる環境を整えた。このクラスでは、理論だけでなく、実際のデータを活用した実践的な学習が重視されており、学生は現実のビジネスや社会問題を題材にデータ解析のスキルを磨いている。また、履修者は「データサイエンス検定」「統計検定」といった資格取得を目指すことができ、学びとキャリア形成を結びつけるカリキュラムが組まれている。

澁谷学長が新しい制がん剤候補の物質について共同研究を行い 欧文原著論文を発表

澁谷正史医学生理学研究所長が、韓国Yonsei大学のH.J. Kwon教授、微生物化学研究所の渥美研究員と共同で進めた抗がん剤候補物質「Ertredin」とその類似物質に関する研究成果を、国際学術誌「Biomolecules」に発表した。この研究は、がん治療における新たな可能性を示すものである。Ertredinは、澁谷所長が8年前、微生物化学研究所の研究

生物化学研究所の研究アドバイザーを務めた際に発見された物質として、その当時から抗がん剤の候補として期待されていた。今回の研究では、Ertredinの化学構造を改良し、さらに幅広い種類のがん細胞に対して強力な物質を新たに発見したことが報告されている。

海外研修inアメリカ・アーバイン

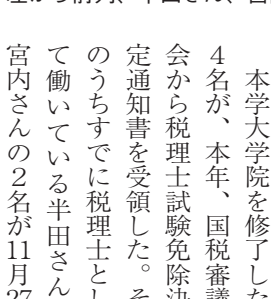
2024年9月2日から9日まで、本学主催の「国際交流プログラム 2024 米国語学研修」がアメリカ・カリフォルニア州アーバイン市で実施された。参加者は8名の学生で、語学研修や異文化体験を通じて、英語力の向上を目指した。

プログラム初日、学生たちはアーバインに到着し、語学学校 Poly Languages Institutes at Irvine (PLI) でのオリエンテーションに参加した。ここでは事前の英語力診断結果を基にしたレベル分けが行われ、リスニングやスピーキング、リーディング、ライティングの授業が始まった。特に最終日は、アメリカの日常会話やゲームをテーマにした特別講義が開かれ、リラックスした雰囲気の中で英語を学ぶ機会となった。

語学研修の間には、お楽しみイベントも実施された。2日目の夕方には、MLBエンゼルスVSドジャース戦を観戦。特別ボックス席での食事を楽しみながら試合を見守り、大谷翔平選手の活躍を目の当たりにすることができた。観戦後

は、球場の熱気や興奮が学生たちが語り合う姿が見られた。最終日前日には、東芝アメリカビジネスソリューション社を訪問。学生たちは英語で自己紹介を行い、現地幹部と直接交流した。簡易な英語を用いたアドバイスの話が交わされ、学生たちにとって大きな刺激となった。

日(水)に指導教官である田地野教授のもとを訪れ、受領報告と在学中の思い出話などに花を咲かせた。教授への受領報告後、在学院生との交流会が催され、論文テーマの見つけ方や論文を書き上げるのに要した時間など、いくつも質問を受けた2名は、後輩たちに助言を惜しまず、貴重な経験談を披露していた。今回の受領を受けて、これまでの過去7年で合計28名の卒業生が税理士資格を取得している。



左から前列、半田さん、宮内さん、後列、佐々木教授、田地野教授



特別ボックス席から観る大谷選手!!

4名の大学院経営管理研究科修了生が 税理士試験免除決定通知書を受領しました

【大学院】

本学大学院を修了した4名が、本年、国税審議会から税理士試験免除決定通知書を受領した。そのうちすでに税理士として働いている半田さん、宮内さんの2名が11月27

アメリカでのビジネスを学ぶ参加学生



アメリカでのビジネスを学ぶ参加学生

秋の公開講座 【出版記念特別講座】

一年365日毎日絵手紙
紙まるごと小池邦夫と
恭子(編著・上武大学手
がき文化研究所・澁谷朋
子)の出版を記念し、
10月13日(学園祭「雑草
祭」と同時開催)に公開
講座が開催された。この
講座には全国各地から約
300名もの来場者が上

武大学高崎キャンパス学
生ホールに足を運び大変
な賑わいを見た。
講座は2部構成で進行
され、第一部では出版さ
れる書籍にまつわるさま
ざまなエピソードが語ら
れた。特に本学客員教授
であり、絵手紙の創始者
として知られる小池邦夫

先生の思い出話やエピソードが紹介される場面では、会場が一気に和やかな雰囲気包まれ、多くの笑い声なども上がった。
第二部では、恒例の絵手紙実技が行われ、このセッションではベテランから初心者まで幅広い年代の参加者たちがハガキやSDGsに関連する再利用材の木の板を用い、参加者が自分の感性を活かし、それぞれユニークな絵手紙をかき上げた。

先生の思い出話やエピソードが紹介される場面では、会場が一気に和やかな雰囲気包まれ、多くの笑い声なども上がった。
第二部では、恒例の絵手紙実技が行われ、このセッションではベテランから初心者まで幅広い年代の参加者たちがハガキやSDGsに関連する再利用材の木の板を用い、参加者が自分の感性を活かし、それぞれユニークな絵手紙をかき上げた。

多数あり、訪れた人々はそれぞれの作品に称賛の言葉をかけたり、絵手紙の魅力や可能性について新たな魅力を発見できたなどの声が至る所で聞かれた。



編著者・澁谷理事長による講演



喜びあふれるプレゼント抽選会



特設絵手紙公募展も盛況



第2部で指導を行う登坂絵手紙協会会長

賑わう雑草祭



附属幼稚園児による和太鼓演奏

10月13日、14日の2日間、本学の学園祭「雑草(あらくさ)祭」が開催された。今年も多彩なイベントが目白押しで、学生だけでなく、地域住民なども参加し、高崎キャンパス全体が活気にあふれた2日間となった。
初日には、高崎キャンパスの特設野外ステージでさまざまなイベントが繰り広げられた。ビンゴ大会は幅広い世代の参加

者が集まり、次々と発表される数字に一喜一憂する姿が見られた。また、学生ホールで行われた看護学部の研究発表会では学生たちが日ごろの学びの成果を披露した。参加者たちは彼らの熱意と知識に感心し、真剣に耳を傾けていた。
教室では留学生スピーチコンテストが行われ、中国、ベトナム、インドネシア、モンゴル、タイ、ネパール、スリランカ7か国の多様な文化背景を持つ留学生(計15名)が、自国の観光ポイントや食文化などについて発表を行った。留学生たちがそれぞれの思いや経験を流暢な日本語で語り多くの



タピオカドリンクや母国の料理を振る舞う留学生有志



看護ポスター発表会

拍手が送られた。2日目はさらに大きな盛り上がりを見た。芸能人ステージでは、お笑いコンビのオズワルドとマルセイユが登場し、観客を笑いの渦に巻き込んだ。また、附属幼稚園児によるダンス発表も大きな注目を集め、和太鼓にあわせて一生懸命踊る姿に、保護者や観客たちの温かい声援が送られ、会場全体が和やかな雰囲気包まれた。

能人ステージでは、お笑いコンビのオズワルドとマルセイユが登場し、観客を笑いの渦に巻き込んだ。また、附属幼稚園児によるダンス発表も大きな注目を集め、和太鼓にあわせて一生懸命踊る姿に、保護者や観客たちの温かい声援が送られ、会場全体が和やかな雰囲気包まれた。